

# 平成 28 年第 3 回市議会定例会 一般質問通告（要旨）

平成 28 年 9 月 13 日（火）

## 1 中野 康子 議員

1	件名	学校教育の現状と課題、その対応策
	(1)	市長は、管内の教育現場で抱える課題をどう捉えているか。課題解決にどう取り組んでいるか
	(2)	いじめ問題、登校拒否、放課後児童クラブの現状と対応策
	(3)	排せつに関する教育指導、環境整備の充実

## 2 植田 博巳 議員

1	件名	田沼意次候生誕 300 年を平成 31 年に、没後 230 年を平成 30 年に迎える。このことを契機に牧之原市の歴史認識と地域活性化について
	(1)	田沼意次候生誕 300 年、没後 230 年が地域の活性化の契機になると考えているのか伺う。
	(2)	田沼意次候記念事業開催の考えについて伺う
2	(3)	牧之原市の歴史、文化財が有効な観光資源となると思うが、今までの取り組みと今後の展望はどうか。また、社会教育や生涯教育として取り組み状況について伺う。
	件名	水道事業における広域化、アセットマネジメント計画、受水費用の低減対策について
	(1)	水道事業は厳しい経営状況がさらに進展する。この問題解決には、同じ経営形態を持つ他市水道事業体との統合、広域化が有効である。これにより、施設配置や事務事業などの効率化、合理化が図られ、経営基盤の強化も図られると考える。県の指導もあるが、市はどのように末端水道事業の広域化を考えているか伺う。
	(2)	市民に安心・安全で安定した水道水の給水を維持継続するためには、適切な施設の維持管理と計画的な耐震化及び老朽管更新が重要である。このためには、中長期的な水道経営計画の基となるアセットマネジメント計画の策定が急務であると考えているが、この計画の取り組み状況を伺う
(3)	現在の給水料金を維持するために、自らできる事務経費の削減など経営の合理化は既に取り組んでいると認識しているが、更に費用の低減対策を講じることが求められる。このことから、受水費用の低減について関係市との連携により供給団体と協議することが重要であると思うが、このことに関する協議を行っているか。行っていればどのような状況か伺う。	

### 3 名波 喜久 議員

1	件名	広域連携取組みへの合意による市の対応について
	(1)	5市2町で合意した内容と、4市1町の活性化事業の進捗状況
	(2)	「食と農の景勝地」認定申請の内容と取組み対策は
	(3)	連携を必要とする行政課題と今後の対応は
2	件名	市内の農産品と生産農家の情報提供について
	(1)	市ホームページの活用を

### 4 大石 和央 議員

1	件名	介護保険について
	(1)	2014年法改正よりさらに制度が複雑化して、取り組み課題も増している。安上がりなサービスは問題がある。
	(2)	厚労省では制度のさらなる見直しを検討しており、これに対して市はどのように対応していくのか。
2	件名	福祉支援体制
	(1)	若年層の家族介護担い手について、その実態把握と支援について質問する。
	(1)	介護、医療、障害、生活困窮など地域生活の中で漏れなく支援が提供できる体制が求められる。早期発見対応の現状を聞く。

### 5 藤野 守 議員

1	件名	茶業振興策として茶輸出の可能性と見通しについて
	(1)	茶業の将来性について考えを伺う。
	(2)	現在の国内外の茶需要の動向から推した対策について伺う。
	(3)	茶の輸出について現在の状況と今後の見通しについて伺う。

2	件名	公共施設マネジメント基本計画の進捗状況と方向性について
	(1)	相良・榛原庁舎の統合について長期的まちづくりの観点から一本化し、位置なども検討するとしている。庁舎の耐用年数到来はいつか。
	(2)	片浜小学校の跡地利用はどのように考えているか伺う。

平成 28 年 9 月 14 日 (水)

## 6 大石 健司 議員

1	件名	東京五輪サーフィン競技の開催地等の招致活動の現状認識と今後の活動について
	(1)	組織委員会から開催地に選定されなかった原因と理由、責任をどのように考えているのか。これまでの活動で反省すべき点、改善すべき内容は。
	(2)	今後、12月の正式決定までに、行政と招致委員会が行う活動の具体的なプロセスと4年後の着地点の目標や展望は。
2	(3)	「サーフィンをはじめとするビーチスポーツやマリレジャーなどの魅力発信とともに、海岸背後地を活用した空間の創出などの、新たな観光まちづくりに取り組む」との市長発言の具体策は
	件名	牧之原市内の津波避難施設の利活用について
	(1)	市内臨海部に建設・整備が進められている津波避難施設や避難地などのこれまでの利用の実績・状況と、今後の方針について伺う

## 7 大井 俊彦 議員

1	件名	障害児支援について
	(1)	障害児支援の現状と課題
2	(2)	国の新たな支援事業等を踏まえた今後の対応
	件名	病児・病後児保育について
2	(1)	病児・病後児保育の現状
	(2)	今後の取り組み

## 8 平口 朋彦 議員

1	件名	対象年齢を拡充した『放課後児童クラブ』の成果と現状、課題を問う。
	(1)	「対象学年の拡大」事業開始より約半年、利用率や利用者の声、職員の意見など総合的な評価は。また職員育成や労働環境の整備については。
	(2)	適切な遊びの場及び生活の場を提供し、児童の育成を図るという設置目的をしっかりと果たしているか。課題等、当局で把握されているものにはどういったものがあるか。
	(3)	時間帯の問題や親族のみの送迎に限定されるなどの理由から利用を途中でやめられた方もいる。利用者側ニーズの検討、送迎に関わる問題、途中退部が見受けられることなどへの見解は。
2	件名	相良総合センター「い〜ら」の利活用促進への取り組みは。
	(1)	公益に適う施設として当初想定した利用率を達成しているのか。どの程度の活用を望んでいるのか、モノサシとなる基準を示されたい
	(2)	もっとも近い公共交通施設から、徒歩 15 分と非常に不便であると言える。何らかの対策を検討する必要もあると思われるがいかがか。
	(3)	施設使用料も高額で利用しにくい、成人式に保護者が会場入りできない、興行には座席数が中途半端である等ご指摘も多い。改修も視野に入れた将来的な展望は。民間委託推進の方向性は。